

令和5年8月 北区「第2回ケアマネ勉強会」を開催しました。

8月29日（火）、今年第2回目となるケアマネ勉強会を開催しました。今回は、兵庫県立大学環境人間学部 竹端寛准教授をお招きし、「困難事例にまつわるモヤモヤを解きほぐす」という題名で講義をいただき、全体で63名のケアマネジャーの方々にご参加いただきました。この日の勉強会では、1、権利擁護の基本を知る。2、お互いが抑圧関係にあることに気づく。3、本人中心のアセスメント方法やアプローチの仕方を学ぶという流れの中で、ケアマネジャーさんへインタビューという形式で、竹端先生とキャッチボールをしながら研修が進んでいきました。

勉強会の内容では、『利用者様から「ほっといて」というのは SOS のサイン。本人は SOS を自分では言えない。「ほっといて」とは、明らかに苦しいことを表現している。どう苦しみに変えていることがわからない。支援者は、背景を知り、共感より理解をすることが大切。対話によって、内在的論理を理解する。支援者としてパターンを変えながら支援をしていくのも必要。自分が変わらなければ、相手も変わらない。』共に考え、関係機関、利用者様、仲間などと何が見えていないかを知ることが大切だと学ぶことができました。

